

## 看護学科学生3名が令和2年度学業優秀学生学長賞を授与

三重大学では、人文学部、医学部看護学科及び生物資源学部の学生を対象に優秀な学業の成果を挙げ、高い評価を受けた者で、本学の教育活動に関して他の学生の模範となるような学生に対して学長から表彰を行っています。

例年、三重大学開学記念日に行っている表彰式は、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

が、人文学部、医学部看護学科、生物資源学部の3年生、計18名に賞状、記念品が手渡されました。また「今後も、ご自身の志を実現するため、しっかりと学問に取り組まれることをお願いしたいと思います。との激励がありました。受賞された皆さん方の今後の活躍が期待されます。

## 看護学科4年生7名に医学部長賞が授与されました

例年、医学部長室において行っている表彰式は、新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、看護学科4年生7名が看護学科臨地実習での学業

成績優秀者として、医学部長から表彰されました。受賞された皆さん方の今後の活躍が期待されます。

## 膵臓がん啓発活動「パープルリボン セレモニー&セミナー 2020 in 津」 をYouTube Live にて開催して

三重大学附属病院 肝胆膵・移植外科 岸和田 昌之  
(三重パープルリボン 事務局長)

膵臓がんは、難治性の高いがんとして知られていますが、「早期発見」と「専門施設での治療」により、予後は大きく変わります。三重大学病院では、膵臓がんを苦しむ方ゼロを目指して、治療のための研究を推進するとともに、「パープルリボン活動」を通じて県民のみなさんに知っていただきたいことを積極的に発信するため、イベントおよび市民公開講座（パープルリボン ウォーク&セミナー）を2012年から開催してきました。令和2年はコロナ禍で軒並みに市民公開講座が中止となっていましたが、「病気について学ぶ機会」を失っている市民の皆さんに「膵臓がん」につい

て知って頂く機会をもっていただきたいとの思いがありました。今回、多くの方々のご協力にて完全web形式にて開催することが出来たので、報告させていただきます（図1, 2）。共同開催であり、三重パープルリボン（事務局：肝胆膵・移植外科）、三重大学附属病院、三重大学附属病院がんセンター、津地区医師会、NPO法人パンキャンジャパン（膵臓がん患者支援団体）の協働です。二部制に分かれており、一部の「パープルリボンセレモニー」では、三重県知事や津市長からのビデオメッセージに加え、患者さんに届けたいと県内外から集まった応援フォトやzoomでのり

ボンセレモニーなどを紹介しました。第二部の「パープルリボンセミナー」では、膵臓がんの診断や最新の治療法に関する講演、薬剤師、看護師、栄養士による暮らしに役立つお話、さらに患者さんの体験談など、幅広いテーマをカバーした市民公開講座をお届けしました。パープルリボンのイベントは今年で9回目、セミナーは10回目（2013年伊勢での1回を含む）の開催となり、病院で継続して実施しているのは世界でも三重大学病院のみと思われます。

Webおよび当日の参加者は合計162名でした。内訳は第一部では、ご挨拶4人（病院長、三重県知事、津市長、津地区医師会長）、応援フォトとzoom動画でのweb参加135名（学内53名、学外82名）、第二部では講師11名（学内9名、学外2名）、現地スタッフ13名（学内9名、学外4名）でした。また、YouTube Liveは当日の動画視聴回は400回以上でした。現在も三重パープルリボンHP (<https://www.hosp.mie-u.ac.jp/pancan/>) にて公開中ですので、HPを訪れていただければ視聴して頂けます。

今回、1) web開催までの経緯と準備状況、

2) パープルリボン セレモニー、3) パープルセミナーの様子を紹介させていただきます。

### 1) Web開催までの経緯と準備状況

令和2年2月から現地開催を想定して計画を開始しました。中国武漢での新型コロナウイルス感染症拡大による都市封鎖が話題になってきた頃でしたが、まさか長期間にわたり世界中にひろがるパンデミックになるとは思いもせず、半年後には通常開催が可能であろうと思い、開催日を9/11（日）と設定して各行政機関にもご協力をお願いしました。4月には国内新規感染者数が日に500人をこえる第1波を迎えましたが、緊急事態宣言発令の効果もあり6月にはほとんどみられなくなり、感染防止対策をとれば現地開催が可能と判断し、ボランティアスタッフの応募開始、新たなキャラクターを印刷したTシャツの準備に追われていました。しかし、7月に入ると第2波が到来し7月下旬には感染のリスクを鑑み開催形式の決断を迫られました。中止も脳裏をよぎりましたが、多くの方々から何かできないかというご希望のお声をいただき、検討を重ねた結果、感染防止への配慮から恒例プログラムの内容や形式を変更し、運営においても万全の感染防止対策を行い、その当時はほとんど試みられていなかったYouTube Liveにて一般公開することにしました。

Web開催すると決定してから本番までの1ヶ月余りは、設備や出演講師の交渉など怒涛のごとく押し寄せる準備に追われました。チラシの作成、周知（インスタグラムやHPなど）、応援ボランティアの募集、T



図1. 表

図1. パープルリボンセレモニー&セミナー2020in津 チラシ



図2. 裏



図3. YouTube Live放送スタジオ  
(肝胆膵・移植外科カンファレンス室)

シャツやリボンなどの配布、応援フォートの依頼、合成モザイクアート画像の作成などです。映像・配信関係は佐久間副病院長（放射線科）にご相談させていただき、7/31に放射線科の中子先生に連絡させていただきましたが、専用機材の設備のみならずYouTube LiveのURL取得、YouTubeの配信方法、YouTubeアクセス用のQRコード作成、リハーサル交信などを直前までご協力・ご相談していただき感謝の念に耐えません。YouTube

Liveの司会は、前年度に取材にきていただいていたFM三重の代田和也アナウンサーに8/25にコンタクトをとってご依頼、Web上にて皆さんにご挨拶を頂くために9/1に県庁、津市役所、津地区医師会、三重大学病院がんセンターへ出張録画、9/9に放射線科の先生方による高速配信の練習、9/10にzoomによるセレモニー録画、9/11の朝からは運営スタッフ13名で病態医科学研究棟（臨床研究棟）7階の肝胆膵・移植外科カンファレンス室を放送スタジオ（音響、セミナーマイク、照明、PC調整など）として設営し（図3）、慌ただしいスケジュールでなんとか開催まで漕ぎ着けることが出来ました。

## 2) パープルリボンセレモニー

司会は、メインを代田アナウンサー、サブを岸和田、野呂看護師（9南病棟）が担当して進行了ました（図4）。（1）あいさつ、（2）パープルリボンの取り組みの紹介、（3）リボンセレモニーの紹介、（4）パープルフォートの紹介、（5）パー



図4. 司会の3人  
(野呂看護師、FM三重代田アナウンサー、岸和田医師)



図5. 伊佐地秀司病院長の開会のあいさつ



図6. 鈴木英敬三重県知事のご挨拶



図7. 前葉泰幸津市長のご挨拶



図8. 浦和健人津地区医師会長のご挨拶

ブルグズの紹介の構成となります。

### (1) あいさつ

伊佐地病院長の開会の挨拶（図5）に続いて、事前録画した鈴木英敬三重県知事（図6）、前業泰幸津市長（図7）、浦和健人津地区医師会長（図8）にそれぞれのお立場からお言葉をいただきました。また、訪問時には「膵臓がんに対するおもい」を旗に寄せ書きしていただきました（図9）。

### (2) パープルリボンの取り組みの紹介

2012年から継続してきたパープルリボンウォーク&セミナーの活動紹介（図10,11）、患者さん・家族のサポートの膵がん教室（図12）、膵がんグルメディカル教室（図13）を紹介しました。

### (3) リボンセレモニー（Zoom録画）

啓発活動や支援の意思を示すために身に付けるリボンを「アウェアネスリボン（Awareness ribbon）」と呼ばれ、直訳すると「気づきのリボン」「認識のリボン」といったところとなります。膵臓がんのカラーは紫であり、「パープルリボン」

が、膵臓がん撲滅、膵臓がんと闘う患者さんやご家族に寄り添い、膵臓がんで苦しむ方ゼロを目指す意思を示します。その啓発アクションとして、「KNOW IT（知る）＝紫リボン」、「FIGHT IT（闘う）＝薄紫リボン」、「END IT（撲滅する）＝白リボン」のスローガンが書かれたリボンを頭上に掲げます。例年は現地にてみんなでかけ声を合わせて行うのですが、今年は前日に応援ボランティアの皆さん（37名）にパープルTシャツとリボンを郵送し、かけ声に合わせて「KNOW IT」→「FIGHT IT」→「END IT」とzoomにて声をあわせてリボンを掲げてそれぞれの思いを動画にしました（図14）。リボンセレモニーの後にガッツポーズや手でパープルハートもしていますので、三重パープルリボンHP（<https://www.hosp.mie-u.ac.jp/pancan/>）のYouTube動画からもぜひご覧ください

### (4) パープルフォト（応援フォト&メッセージ）

HPから申込があった応援ボランティアの皆さんにメッセージボードとパープルTシャツを郵送し、それぞれの思いをこめたメッセージをパープ

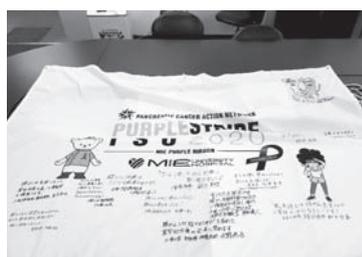


図9. 寄せ書き



図10. 2012～2020の三重パープルリボンの活動紹介



図11. 過去開催時のロビーの様子



図12. 膵がん教室の様子



図13. 膵がんグルメディカル教室の様子



図14. リボンセレモニーの様子 (zoom録画)

ルフォト（応援フォト&メッセージ）として送り返してもらいました（図15, 図16）。個人だけではなく部署としても送って頂いています（図17～20）。また、三重県内のみならず北海道、宮城県、福島県、神奈川県、京都府と県外からも応募していただき、最終的に100人以上あつまり、ひとりひとりの応援メッセージを紹介と全員の写真を集めてパープルリボンのモザイクアートを作成しました（図21, 22）。

### （5）パープルキャラクターとパープルグッズの紹介

本来ならパープルリボンのイベントに皆さんに親しんでいただこうと新キャラクターや新製品を考えていましたが、今年は残念ながらWebでのリボンセレモニーの際の紹介だけになりました。来年には皆さんにご紹介できることを願っています。

#### ①新キャラクターのチーム・パープル（パープルマン、パープルニャン、パープルワン、パープルチュー）

パープルリボンの想いを伝え、患者さんの願い



図15. パープルフォト  
(津市、高校生応援ボランティア)



図16. パープルフォト  
(留学生のご家族、応援ボランティア)



図17. パープルフォト  
(肝胆脾・移植外科の皆さん)



図18. パープルフォト  
(薬剤部の皆さん)



図19. パープルフォト  
(栄養診療部の皆さん)



図20. パープルフォト  
(緩和ケアセンターの皆さん)



図21. パープルフォト (YouTube liveの一コマ)



図22. パープルフォトを集めて作成したモザイクアート

チーム・パープル “KNOW IT - FIGHT IT - END IT”

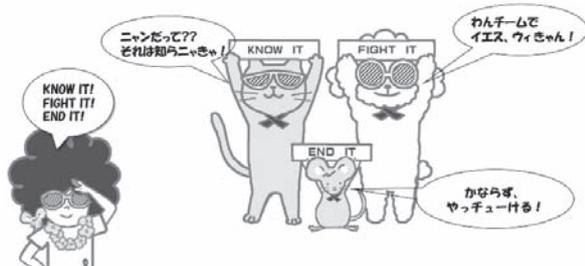


図23. 新キャラクターのチーム・パープル (パープルマン、パープルニャン、パープルワン、パープルチュー)

チーム・パープル “KNOW IT! FIGHT IT! END IT!”



図24. チーム・パープルメンバーのキャラクター紹介

IT!」担当で膵がんを根治するための治療法をチューや研究チュー、「いチューか、かならず、やっチューける!」の『パープルチュー』です。今後もTシャツやHPなどに登場して身近に親しんで頂けるキャラクターとして活躍してもらおう予定です。(図23, 24)

②パープル娘

昨年にパープルウォークに参加してもらった仲



図25. パープル娘 (仲よし4人組)



図27. パープルシール



図28. パープルチューを腕に

よし4人組の女の子(当時:小学校3年生)の写真があまりにもかわいくて親御さんに許可を頂いて絵にしました。YouTubeでも紹介していますが、膵がん治療をしている患者さんにほっと一息つけていただけるように三重大学病院の肝胆膵病棟(9階南病棟)にて現在も展示中です。(図25)

③パープルくま (ミーベとミッペのパープルリボン版)

三重大学病院公式マスコットキャラクターのミーベとミッピをパープルリボン用に三重大学カラーの緑色から紫色に変身してもらいました。チラシやシールにも登場してもらっておしらせに活躍してもらいました(図26)

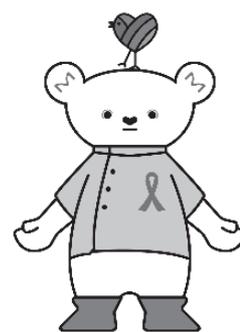


図26. パープルくま (ミーベ&ミッペのパープルリボン版)

④パープルシール

例年は直接にボランティアスタッフが顔に描くフェイスペイントをしていたのですが、今年は直接に参加者に会うことができずさらに接触ができないため、各自で顔や身体に貼れるようにパープルシールを作成しました(図27)。応援ボランティアに郵送して、顔や腕に貼ってもらって楽しんで頂きました(図28)。

### ⑤パープルラスク

栄養診療部と三重大学正門前のパンリッチさんとのコラボ作品です。パープルラスクの紫色は紫芋パウダーを使用し、パウダーの量や焼き時間・温度を調節し、試作を重ねてきれいな紫色に仕上げました(図29)。フランスパンを使用しているのでサクッとした食感が楽しめました。今回は、現地で講演を頂いた講師の先生にお礼としてお渡ししました。



図29. パープルラスク  
(パンリッチさんと栄養診療部のコラボ作品)

### ⑥パープル煎餅

膵がん患者さんが、津の銘菓の平治煎餅の焼き型を寄付していただき、それを年々引き継いで使用しており定番となっています(図30)。



図30. パープル煎餅

### ⑦パープル餅(とらや本家)

本家とらやさんよるこの日のためのオリジナル和菓子を作成していただきました(図31)。ハートを上



図31. パープルもち

にのせて可愛い出来上がりです。これも当日に紹介、講師の先生にお礼としてお渡ししました。

### ⑧パープルTシャツ

毎年、三重大学病院のサポートにて作成しています。今年は、新たにチームパープルのパープーマン、パープルニャン、パープルワン、パープルチュー、パープルくまを前面にプリントしてリ

ニューアルしました。写真は普段の犬の散歩などにも愛用していただいていると連絡を頂いた小学1年生の応援ボランティアです(図32)。



図32. パープルTシャツを犬の散歩に愛用(小学1年生、応援ボランティア)

### (6) パープルセミナー(膵臓がんに対する市民公開講座)

第二部として、膵臓がんに対する市民公開講座としてパープルセミナーを開催しました。中瀬がんセンター長に開会の挨拶をいただき(図33)、引き続いて「パンキャン日本の活動紹介」(図34)、「疫学と今後の展望」、「診断(図35)」、「外科治療(図36)」、「抗がん剤治療(図37)」、「放射線療法(図38)」、「がんゲノム診療(図39)」、「地域医療の取り組み(図40)」、「緩和ケア(図41)」、「薬(図42)」、「食事(写図43)」など実際のくらしに直結した内容の講演をして頂きました。最後は、実際の膵臓がん治療を体験して克服した患者さん(がんサバイバー)に登壇していただき、ご自身の気持ちや症状など今までの経過を語っていただきました(図44)。最後に恒例の「膵がん撲滅!」のガッツポーズで締めくくりました(図45)。

慌ただしいスケジュールでしたが、大きなトラブルもなく無事、盛会裏に終えることができました。最後になりましたが、開催1ヶ月前の急なご依頼にもかかわらずWeb開催を可能にすべく尽力を頂いた放射線科の佐久間教授、永田先生、中子先生、日曜日にもかかわらず快くご講演をいただいた講師の先生方、現地で感染対策をしながら下支えしていただいた医療スタッフや事務の方々、Webボランティアとして応募していただいた学



図33. 中瀬一則がんセンター長のセミナー開会のご挨拶



図34. 眞嶋喜幸パンキャンジャパン理事長



図35. 井上宏之先生 (膵がん診断のご講演)



図36. 水野修吾先生 (膵がんの外科治療のご講演)



図37. 山田玲子先生 (膵がんの抗がん剤治療のご講演)



図38. 野本由人先生 (膵がんの放射線治療のご講演)



図39. 奥川喜永先生 (膵がんのゲノム診療のご講演)



図40. 草川雅之先生 (膵がんの地域医療の取り組みのご講演)



図41. 松原貴子先生 (膵がんと緩和ケアのご講演)



図42. 加藤里奈先生 (膵がんと薬のご講演)



図43. 森貴宣先生 (膵がんと栄養のご講演)



図44. 膵がん患者さん (膵がん治療の体験談のご講演)

生・一般ボランティアの皆様、様々な形にてご支援・ご協力を頂きましたことをこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。



図45. 膵がん撲滅!のガッツポーズ(YouTube Liveエンディング)